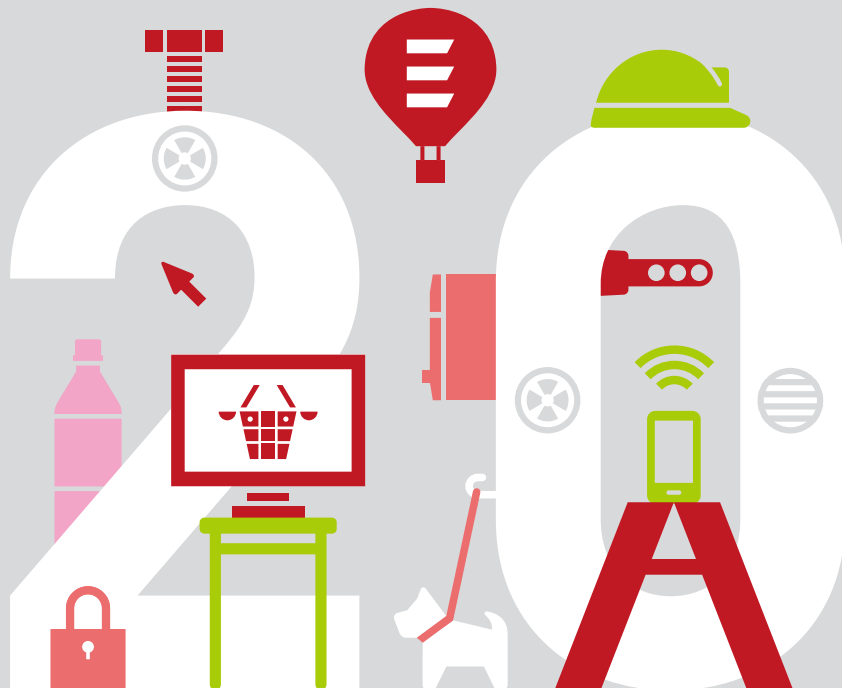


第76期
IR Report
株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日



特集

社長インタビュー

**2022年度は念願のコミット600達成が確実です。
「いい暮らし」の価値を創造する住生活のオンリーワン企業を
目指し、創業100周年1000億企業へ向けて始動します！**



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当事業年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の「株主通信」をお届けするにあたりまして、皆さまからの日頃のご支援に対して心より厚く御礼申し上げます。

Q 第76期の総括

2021年度もコロナと闘いながらの一年間でした。当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高 55,975 百万円(前連結会計年度は56,072百万円)、営業利益 278百万円(同477百万円)、経常利益 384百万円(同593百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益227百万円(同323百万円)となりました。

2021年度も「顧客との関係強化」「業務プロセスの改革」「営業施策の実行」「商談力強化」「卸としての基盤強化」という5つの施策を掲げ具体的な改善に努め、概ね取り組みの成果が出ております。

今後更に、顧客との SNS活用や消耗品の販売強化は継続して取り組んでまいります。

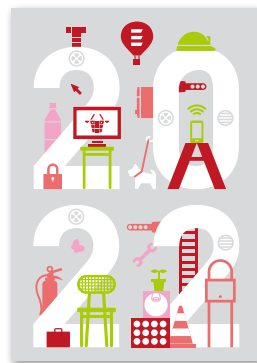
Q 第77期に向けての事業戦略

2021年度末にフヨー株式会社の全株式を取得し、杉田エースグループに仲間入りしました。フヨーは、1964年の創業でフヨーバックカー、フヨータイトの自社製品に加えシーリング材、防水材等を扱う建材部門と独自の高度粘着・接着加工技術を活かしたIT関連機器や情報関連機器など様々な素材と加工を提供する化成品部門があり、2021年6月期の売上高75.4億円、経常利益2.2億円、当期純利益1.4億円の優良企業です。全国に6つの拠点があり従業員数は約100名です。フヨーの連結により長年の悲願であったコミット600も今期は確実に達成します。今後は双方の営業販路において商材のシナジー効果を発揮させ業績を拡大したいと考えております。

今期の重点戦略・戦術は3つあります。1つ目が「スギカウの利用拡大」です。多くのお客様に利用していただくことで、在庫や価格問合わせに活用していただき、業務のスピードを上げていきます。2つ目が「SNS活用の推進」です。SNSの活用により、お客様とのコミュニケーションを変革していきます。3つ目が「新規商材の拡販」です。

コミット600の達成により新しい目標に向かって歩き出します。スローガンは「100th&100billion」です。今後、年3%成長の自己努力と仲間を増やす(グループ企業)資本政策により創業100周年を迎える2034年には売上高1000億円を達成するという計画です。建築資材ビジネスの深掘り(販路と商材)に挑戦し、「いい暮らし」の価値を創造する住生活のオンリーワン企業を目指します。

具体策の1つ目は、建築資材ビジネスの深掘りに挑戦です。商材と販路の拡大をし、建材卸としての面の拡大を目指します。さらに加工・施工・物流など機能の仕組みを構築し、地域ビジネスとのマッチングと水平展開を図ってまいります。2つ目が



「いい暮らし」の価値を創造することです。防災事業(イザメシ)の継続拡大、ライフスタイル(PATIO PETITE、upstairs)商材の拡充と卸展開を推進します。そして直営EC・小売・飲食事業の安定化と出店拡大を目指します。3つ目が住生活のオンリーワン企業を目指すことです。建材・雑貨・防災に関わる独自ブランドの拡充と柱になる独自ビジネスをさらに増やし太くする取り組みを推進していきます。これらを実現した時に「100th&100billion」が達成できると信じております。

3年目に入ったコロナとの戦いやウクライナ戦争により世界経済も大きな打撃を受けております。材料などさまざまな商品の値上げなど弊社にとっても厳しい条件が続きますが、計画した施策を一つ一つ確実に実行に移し成長していきます。

これからも株主の皆さまのご期待にそえるよう、社員一同精一杯精進し「100th&100billion」という新しい目標に向けて頑張ってまいります。今後とも、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

フヨー株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

当社は2022年3月31日付でフヨー株式会社の全株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。



フヨーは、1964年の創業でフヨーバックカー、フヨータイトの自社製品に加え、シーリング材、防水材を扱う建材部門と独自の高度粘着・接着加工技術を活かしたIT関連機器、情報関連機器に様々な素材と加工を提供する化成品部門があり、全国に6つの拠点があり従業員数は約100名です。フヨーの連結により長年の悲願であったコミット600も今期は確実に達成します。今後は双方の営業販路において商材のシナジー効果を発揮させ業績を拡大したいと考えております。

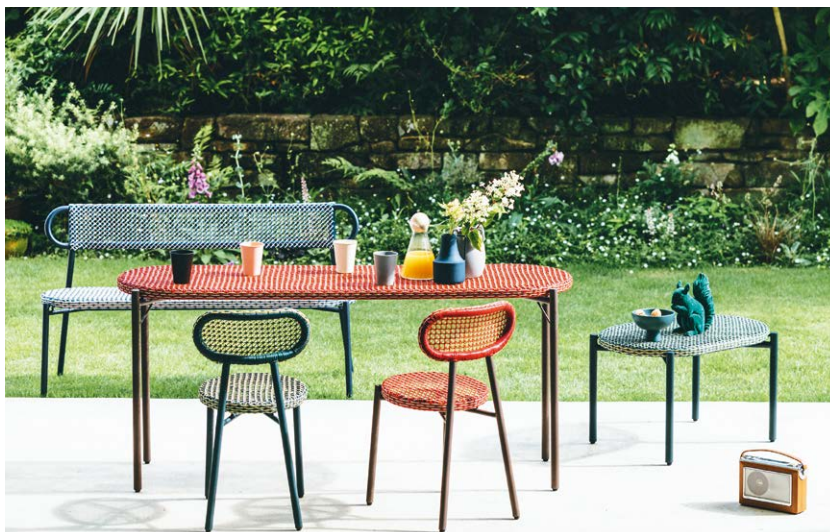
【会社概要】

名 称	フヨー株式会社
所 在 地	東京都墨田区横川4丁目10番9号
事 業 内 容	シーリング材・防水材・副資材・粘着剤・両面テープ類の販売、粘着・接着、ラミネートスリット・カッティング加工の委託加工等
資 本 金	4,000万円
代表取締役	高橋芳郎(兼任) 杉田エース株式会社 取締役

New Product

アウトドアファニチャー「PATIO PETITE」 2021新作「WA Series」が登場！

PATIO PETITE の新作として発表した「WA Series」は、トラフ建築設計事務所がデザインを手がけ、テーブルからチェアまで全6型（各3色）のアウトドアファニチャーを展開しています。コンパクトなサイズ感が特徴の「WA Series」は、用途やシーンにあわせた自由な組み合わせをお楽しみいただけます。各アイテムのフォルムが統一されているため、どんなレイアウトでも全体にまとまりを与えることができます。



PATIO PETITE WA Series コンセプト

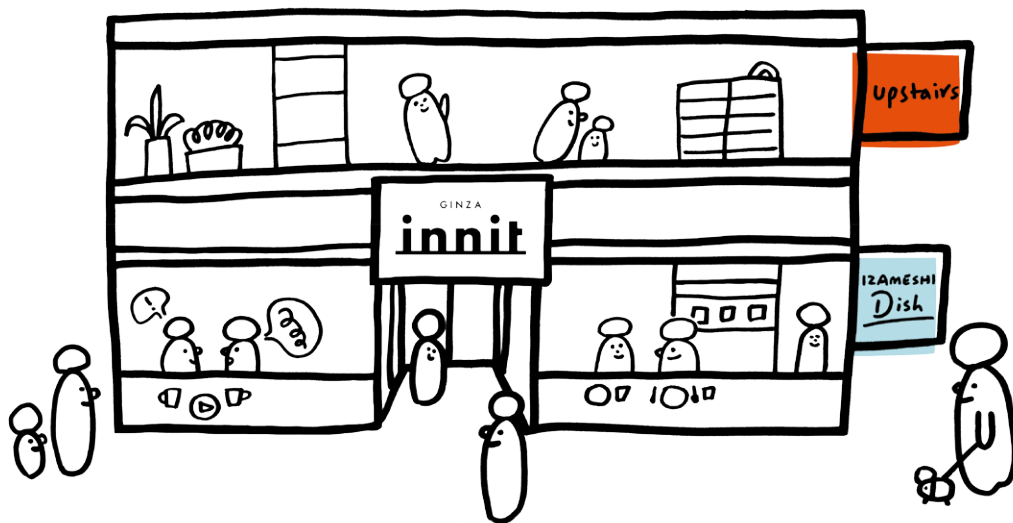
“WA Series”は、「輪(WA)」が軌跡を描くように展開するシリーズです。丸みを帯びたフォルムはあたりも柔らかく、アクセスする方向を選びません。狭小空間にもフィットする直径465mmの円が連なってできる豊かなバリエーションが多様なシーンに対応します。カラフルなラタンと軽やかなスチールフレームが現代的な表情を生み出し、周囲に自然と場をつくりだすファニチャーシリーズです。（トラフ建築設計事務所）



New Store Introduction

2021年9月1日に銀座七丁目に新店舗 「GINZA innit (ギンザ・イニット)」をオープン

メインストリートからアクセスの良い「GINZA innit」の“innit”は、英語の「isn't it」の省略形。既存の形式や様式にしばられることなく、もっと自由でフレキシブルな時間の過ごし方、暮らしのあり方を目指します。銀座らしいスマートな居心地を確保しながらも、もっと気軽に楽しく時間を過ごせるスペースを提供したい。そんな思いから、銀座の街並みにずっと溶け込む、透明度と開放感に満ちた空間を作り上げます。



【店舗概要】

2階

upstairs outdoor living
(アップステアーズ・アウトドアリビング)
<営業時間> 11:00 - 20:00
TEL 03-3289-5150

1階

IZAMESHI Dish
(イザメシディッシュ)
<営業時間> 11:00 - 23:00
TEL 03-3289-5155

京都発

人気ラーメン店
「麺屋優光 銀座店」
東京都中央区銀座
7丁目にオープン





2F

アウトドア & ライフスタイルアイテムが揃う「upstairs outdoor living」

杉田エースが手がけるアウトドアファニチャー「PATIO PETITE（パティオ・プティ）」や防災関連グッズに加え、国内外からセレクトしたインテリア、ガーデン、アウトドアにまつわるアイテムを揃えたライフスタイルショップ「upstairs outdoor living（アップステアーズ・アウトドアリビング）」では、これまでにない新鮮な目線から暮らしに寄り添うアイテムを取り揃えました。



1F

長期保存食「IZAMESHI」を使った食事を楽しめる「IZAMAESHI Dish」

長期保存食「IZAMESHI（イザメシ）」を使った彩り豊かな料理をお楽しみいただける「IZAMESHI Dish（イザメシディッシュ）」がオープン。産地直送の国産野菜やフルーツなど、素材にもこだわった安心・安全でヘルシーなお料理やお飲み物をご用意しています。その日の気分にあわせて選べるランチセットやお好みのお料理を選んで楽しめるディナーコースに加え、スイーツや自家製酵素ドリンク、厳選した各種アルコール、おつまみにぴったりなアラカルトなど、アレンジをきかせた豊富なメニューを展開します。



2021年3月、長期保存食「IZAMESHI」で、「麺屋優光」とコラボレーションしたのがきっかけで京都発のラーメン店麺屋優光グループとフランチャイズ契約を結び、2022年2月に「麺屋優光 銀座店」をオープン。麺屋優光は、こだわりの貝出汁をベースにした上品な味の醤油ラーメンを提供する、関西でも高い人気を誇るラーメン店です。人気メニュー1位は貝出汁醤油ラーメンの「淡竹」で全体の70%です。

【店舗概要】

麺屋優光 銀座店
東京都中央区銀座7-3-13
ニューギンザビル1号館 1階
＜営業時間＞（昼）11:00-15:00
（夜）17:00-27:00
（日・祝）11:00-20:00

「シャンウェイ×IZAMESHI 中華惣菜缶詰」が新登場！

「シャンウェイ×IZAMESHI 中華惣菜缶詰」は、製造から賞味期限3年の缶詰8種類と、それらを詰め込んだセット商品を展開します。



「家庭料理・鉄板中華 シャンウェイ」は、上海で鉄板中華と出会った佐々木孝昌シェフが、その技法を再現するために青山・外苑前に開店し（現在は代々木に移転）、本格的な味わいとおもてなしの心で多くの人に愛されてきました。今回のコラボレーションは、かねてより缶詰の商品開発や非常食に関心を持っていた「家庭料理・鉄板中華 シャンウェイ」と、日常におけるさまざまな“いざ”に活躍するおいしい長期保存食づくりを目指してきた杉田エースとの想いが重なり誕生しました。

「シャンウェイ×IZAMESHI 中華惣菜缶詰」は、缶切り不要で開けてそのまますぐに食べられるため“いざ”というときの備えとして最適です。また、8種類の中華惣菜缶詰は、災害時だけでなく普段の食卓やアウトドアシーンなど、さまざまなシーンで活躍します。8種類の缶詰を詰め込んだ中華惣菜缶詰セットは、保存食としてはもちろん、離れて暮らす家族や友人など、大切な人へのギフトとしてご活用ください。

■＜シャンウェイ×IZAMESHI 中華惣菜缶詰＞賞味期限：製造日より3年



鶏の特製醤油だれ
内容量：内容総量
130g(固形量 80g)
標準小売価格：550円
(税込 594円)



ホタテと卵のチリソース
内容量：内容総量
140g(固形量 40g)
標準小売価格：550円
(税込 594円)



**オイスターソースと
花椒の牛すじ煮込み**
内容量：内容総量
120g(固形量 70g)
標準小売価格：550円
(税込 594円)



豆板醤の甘辛チキンカレー
内容量：内容総量 150g
標準小売価格：550円
(税込 594円)



**豚肉と水クワイの
甘酢和え**
内容量：内容総量
90g(固形量 50g)
標準小売価格：480円
(税込 518円)



**にんにくと黒胡椒
の砂肝**
内容量：内容総量
85g(固形量 50g)
標準小売価格：480円
(税込 518円)



蒸し鶏のエビ油漬け
内容量：内容総量
75g(固形量 50g)
標準小売価格：480円
(税込 518円)



そばろメンマ
内容量：内容総量
80g(固形量 50g)
標準小売価格：480円
(税込 518円)



中華惣菜缶詰セット

内容量：8缶セット(箱入り)
セット内容：鶏の特製醤油だれ x1、ホタテと卵のチリソース x1、オイスターソースと花椒の牛すじ煮込み x1、豆板醤の甘辛チキンカレー x1、にんにくと黒胡椒の砂肝 x1、そばろメンマ x1、蒸し鶏のエビ油漬け x1、豚肉と水クワイの甘酢和え x1
標準小売価格：4,500円(税込 4,860円)

2021年9月1日、防災の日に 長期保存食 IZAMESHI「スープ」(6種類)を販売！

「IZAMESHI」のラインアップに新たに加わった「スープ」は、非常時や災害時に不足しがちな野菜を使用した賞味期限3年の長期保存食です。バラエティ豊かな全6種類のスープは、調理が不要で非常時や災害時だけでなく、日常生活におけるさまざまな“いざ”にも活躍します。



【スープの特徴】

1. 野菜を手軽に味わえる：災害時は物流が止まり生野菜の入手が困難になると言われています。IZAMESHIの「スープ」は調理が不要で野菜を豊富に使用しているため、手軽に野菜を取り入れることができます。
2. 常温でもおいしく食べられる：レトルト殺菌しているため、加熱調理の必要はありません。常温でもおいしく食べられますが、温めたり冷やすことでよりおいしくお召し上がりいただけます。
3. 長期保存可能：気密性、遮光性の高い容器で密封し、レトルト殺菌処理をしているため、製造から3年の長期保存が可能です。

4. 化学調味料不使用：化学調味料を使わずに、素材本来の味をお楽しみいただけるよう、シンプルな味付けに仕上げました。
5. バラエティ豊かなラインアップ：スペイン発祥の「ガスパチョ」や「アホブランコ」、タイ料理の「トムヤムクン」など、世界の味から馴染みのあるコーンポタージュまで、バラエティ豊かな全6種類のラインアップを揃えました。

■「スープ」内容量：180g／賞味期限：製造より3年／標準小売価格：420円(税込454円)／サイズ：W130×D33×H160mm



ガスパチョ



アホブランコ



トムヤムクン



7 種野菜のコーン
ポタージュ



枝豆とブロッコリー
のグリーンスープ



ポルチーニ茸と
ハト麦のスープ



IZAMESHI SOUP セット (6種類 詰め合わせ)
標準小売価格：2,800円(税込3,024円)

業績・財務ハイライト

営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種の普及等が進み、さらに各種政策の効果や海外経済の改善等によって景気が持ち直していくことが期待されましたが、ウクライナ情勢によるエネルギーや原材料価格の上昇、急激な為替レートの変動等により先行き不透明な状況で推移しました。

住宅建設業界におきましては、首都圏のマンション総販売戸数は持ち直しの動きが見られましたが、持家、貸家の着工は弱含んでおり、分譲住宅の着工はおおむね横ばいとなり、全体としては弱含みで推移しました。

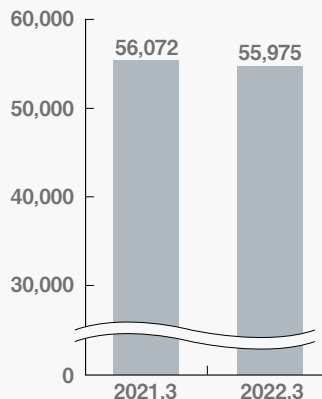
このような状況の中、当社グループは既存事業の強化のため2022年3月にはシーリング材・防水材・粘着剤・両面テープの販売・加工等を提供する「フヨー株式会社」の全株式を取得し、子会社化いたしました。また近年注力しております新規事業の更なる強化のために2021年7月と9月には長期保存食「IZAMESHI」、9月にはアウトドア家具「PATIO PETITE」の新商品の開発・販売を行いました。さらに9月には、2フロアの新店舗「GINZA innit（ギンザ・イニット）」を銀座にオープンしました。1階は長期保存食「IZAMESHI」を楽しめる「IZAMESHI Dish」と、2階はアウトドア＆ライフスタイルアイテムが揃う「upstairs outdoor living」からなり、新感覚のショップとして好評をいただいております。また2022年2月には京都発のラーメン店麺屋優光グループとフランチャイズ契約を結んだ「麺屋優光 銀座店」をオープンいたしました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高 55,975百万円（前連結会計年度は56,072百万円）、営業利益 278百万円（同477百万円）、経常利益 384百万円（同593百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益 227百万円（同323百万円）となりました。

連結財務ハイライト

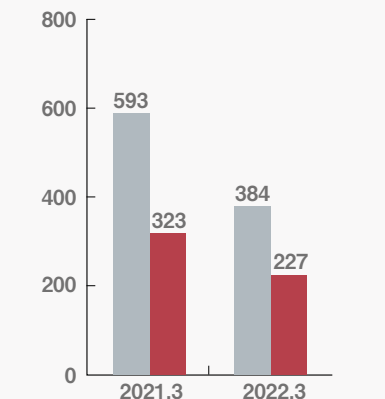
売上高

(百万円)



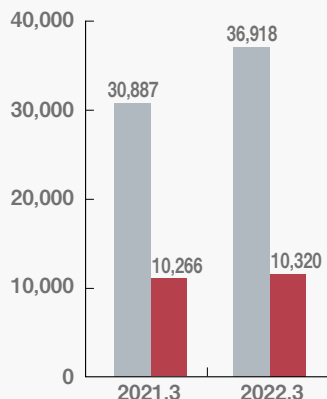
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



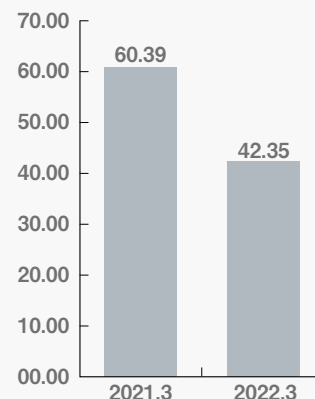
総資産／株主資本

(百万円)



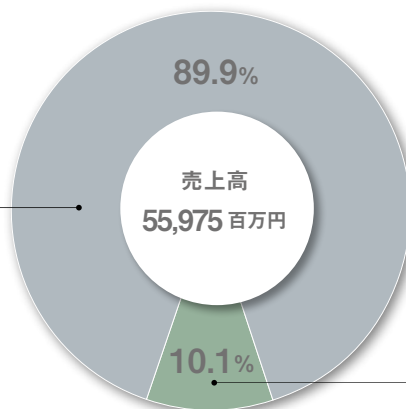
1株当たり当期純利益

(円)



(注) 2022年3月期の記載金額は、収益認識基準後で表示しております。

セグメント状況



50,296 百万円

ルート事業

ルート事業（ルート事業は、住宅用資材及びビル用資材を、二次卸・金物店・建材店等へ販売しております。また、同資材を建材店・販売工事店へ、独自のノウハウによる設計・加工・施工等の付加価値を加味して販売しております。）

ルート事業については、遅延していた各種工事案件が年度末に動き始めました。例年より工事案件が微増になった事により落ち込みを食い止める事が出来ました。主要因としましては、これまでは、オリンピック開催に合わせて、例年に比べ工事案件を減らしていた事や、新型コロナウイルス感染症拡大により、資材不足、職人不足等ありましたが、年度末に向け工程の前倒し、完成工事の前倒し等により案件が微増となりました。工事案件以外では、当社グループは引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策商品として、宅配における配達者と荷受者の接触を避けるための宅配ボックス、衛生用品（除菌スプレー、サーモマネージャー等）、飛沫感染防止パネル、シートフィルム、ワクチン接種会場等に使用する各種パーティション等の拡販に注力しました。

この結果、ルート事業全体の売上高は、50,296百万円となりました。

5,678 百万円

直需事業

直需事業（直需事業は、ホームセンター、通販会社、百貨店等、一般小売店向けのDIY商品、及びOEM関連資材、その他商品を販売しております。）

直需事業については、前連結会計年度の新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり需要の減少によりDIY商品を中心にホームセンター向けは低調に推移いたしました。一方、通販を利用して人との接触を減らしながら商品を購入する購買様式が定着化しつつあり、通販関連企業向けは長期保存食「IZAMESHI」をはじめ、好調に推移しております。全般的には、原材料及びエネルギー価格の更なる高騰により引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

この結果、直需事業全体の売上高は5,678百万円となりました。

決算レポート

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第75期 2021年3月31日現在	第76期 2022年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	23,530	26,542
現金及び預金	3,826	4,517
受取手形及び売掛金	12,662	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	13,464
電子記録債権	1,894	3,195
棚卸資産	4,064	4,209
未収入金	1,020	1,094
その他	66	62
貸倒引当金	△ 5	△ 2
固定資産	7,356	10,376
有形固定資産	5,160	6,996
建物及び構築物	2,278	2,799
土地	2,696	4,013
その他	186	182
無形固定資産	306	1,316
ソフトウェア	182	149
のれん	—	961
その他	124	205
投資その他の資産	1,889	2,063
投資有価証券	935	828
繰延税金資産	226	340
その他	727	894
資産合計	30,887	36,918

科 目	第75期 2021年3月31日現在	第76期 2022年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	17,764	20,066
支払手形及び買掛金	5,709	7,193
電子記録債務	9,993	10,349
1年内返済予定の長期借入金	475	839
未払法人税等	265	211
賞与引当金	344	369
その他	975	1,102
固定負債	2,781	6,487
長期借入金	1,618	4,908
退職給付に係る負債	447	468
役員退職慰労引当金	540	590
資産除去債務	31	83
その他	143	435
負債合計	20,545	26,553
(純資産の部)		
株主資本	10,266	10,320
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	9,163	9,217
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	75	44
その他有価証券評価差額金	96	51
退職給付に係る調整累計額	△ 21	△ 7
純資産合計	10,341	10,364
負債純資産合計	30,887	36,918

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第75期 自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日	第76期 自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日
売上高	56,072	55,975
売上原価	47,953	48,069
売上総利益	8,118	7,906
販売費及び一般管理費	7,641	7,628
営業利益	477	278
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	14
仕入割引	111	108
受取家賃	43	47
その他	19	16
営業外収益合計	195	187
営業外費用		
支払利息	7	7
手形売却損	11	10
売上割引	59	59
その他	1	2
営業外費用合計	79	80
経常利益	593	384
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	51	73
特別利益合計	51	73
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
店舗閉鎖損失	79	—
特別損失合計	81	0
税金等調整前当期純利益	564	458
法人税、住民税及び事業税	259	204
法人税等調整額	△ 19	25
法人税等合計	240	230
当期純利益	323	227
親会社株主に帰属する当期純利益	323	227

(注 1) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注 2) 2022年3月期の記載金額は、収益認識基準後で表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第75期 自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日	第76期 自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,179	223
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 221	△ 2,634
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 14	3,043
現金及び現金同等物の 増減額（△減少額）	943	632
現金及び現金同等物の 期首残高	2,883	3,826
現金及び現金同等物の 期末残高	3,826	4,459

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	697	409	9,163	△ 4	10,266	96	△ 21	75	10,341
会計方針の変更による累積的影響	—	—	△ 12	—	△ 12	—	—	—	△ 12
会計方針の変更を反映した当期首残高	697	409	9,151	△ 4	10,253	96	△ 21	75	10,329
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	△ 160	—	△ 160	—	—	—	△ 160
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	227	—	227	—	—	—	227
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	△ 44	13	△ 31	△ 31
当期変動額合計	—	—	66	—	66	△ 44	13	△ 31	34
当期末残高	697	409	9,217	△ 4	10,320	51	△ 7	44	10,364

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

株式の状況

(2022年3月31日現在)

- ①会社が発行する株式の総数 普通株式 19,490,000 株
- ②発行済株式の総数 普通株式 5,374,000 株
- ③株主数 5,957 名

大株主

(2022年3月31日現在)

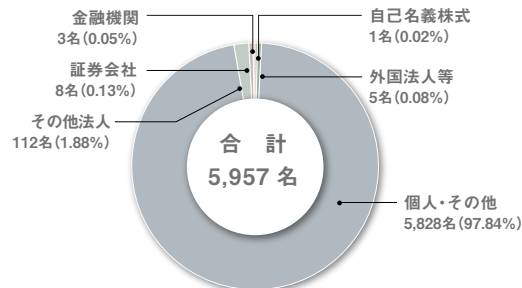
株主名	持株数	持株比率
杉田直良	906,000 株	16.89%
有限会社 杉田商事	730,000 株	13.61%
杉田裕介	260,000 株	4.85%
株式会社 三井住友銀行	195,000 株	3.63%
杉田エース従業員持株会	186,212 株	3.47%
東京中小企業投資育成 株式会社	159,500 株	2.97%
株式会社 ナスタ	117,800 株	2.20%
株式会社 ダイケン	93,800 株	1.75%
株式会社 千葉銀行	72,000 株	1.34%
杉田力介	70,000 株	1.30%

(注) 持株比率は自己株式(8,853株)を控除して計算しております。

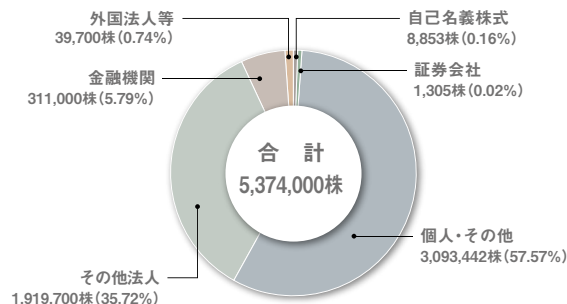
株式分布状況

(2022年3月31日現在)

株主別分布状況

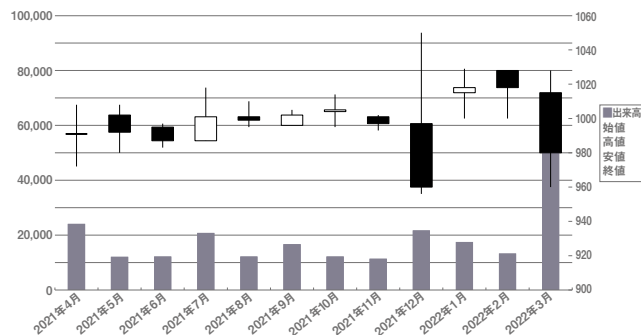


所有株式数別分布状況



株価の推移

(2022年3月31日現在)



会社情報

会社概要

(2022 年 4 月 1 日現在)

商 号	杉田エース株式会社 SUGITA ACE CO.,LTD
所 在 地	東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号
設 立	1948 年 9 月
資 本 金	697,240,600 円
従業員数	905 名（グループ合計）
主 な 事業内容	当社は、住宅用資材、ビル用資材、DIY 商品及び特定需要家向け OEM 関連資材及び自社ブランド商品の卸売業を行っております。

主 な 事 業 所

(2022 年 4 月 1 日現在)

本社事務所	東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号
営業部等	北海道・東北・東京・西関東・北関東・中部・近畿・中四国・南日本・直需
流通センター	札幌・仙台・東京・千葉・成田・埼玉・大宮・神奈川・名古屋・大阪・福岡
グループ会社	水沢エース株式会社 フヨー株式会社

取締役及び監査役並びに執行役員

(2022 年 4 月 1 日現在)

代表取締役会長	杉 田	直 良
代表取締役社長	杉 田	裕 介
取締役副社長	杉 田	力 介
専務取締役	佐 藤	正
常務取締役	花 井	慎 一
取 締 役	高 橋	芳 郎
取 締 役	井 関	誠
取 締 役	島 田	直 樹
常 勤 監 査 役	北 川	達 也
監 査 役	貫 井	康 夫
監 査 役	川 口	伸
執 行 役 員	瀧 山	吉 彦
執 行 役 員	滝	昇 悟
執 行 役 員	清 野	賢 太
執 行 役 員	福 山	潤之輔
執 行 役 員	和泉澤	弘 樹
執 行 役 員	昆 布	光 正
執 行 役 員	上 田	嘉 信
執 行 役 員	三 好	健 司
執 行 役 員	小 林	寛
執 行 役 員	蜷 木	勝 一
執 行 役 員	高 橋	敏 明
執 行 役 員	岡 田	文 博
執 行 役 員	岡 田	努
執 行 役 員	萩 原	裕 司

(注) 1. 取締役 島田直樹氏は社外取締役であります。
2. 監査役 貫井康夫・川口伸の両氏は社外監査役であります。

株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の、株主名簿に記録されている100株以上ご所有の株主の皆さまを対象に、当社取扱商品を贈呈いたします。
2022年3月期末は「IZAMESHI (イザメシ)」1セットを贈呈いたします。



SUGITA ACE

株主メモ(株主のご案内)

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	(郵便物送付先)
■定時株主総会	毎年6月開催	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
■基準日	定時株主総会 毎年3月31日	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	期末配当金 毎年3月31日	(電話照会先) ☎ 0120-782-031
	中間配当金 毎年9月30日	(インターネットホームページ URL)
	その他必要があるときは、	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
	予め公告して定めた日	
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	■公告掲載新聞 日本経済新聞
■株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	株式に関する住所変更等の届出及びご照会について 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等の届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

杉田エース株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑二丁目14番15号
TEL.03-3633-5150 FAX.03-3633-5023

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

<https://www.sugita-ace.co.jp>